

都市とITとが出合うところ

福田 知弘 大阪大学 大学院工学研究科 環境・エネルギー工学専攻 准教授

建築・都市とIT(情報技術)とは一見遠く離れた別々の分野のように思えなくもない。しかし、情報社会の時代となり、建築・都市とITとは、計画、設計、施工、運用の各フェーズにおいて、互いの存在をますます無視できなくなっている。本連載では、都市とITとの両者が出合うところや課題について、魅力的な国内外の各地をぶらりと街歩きしながら考えてみよう。

第53回 CAADRIA 2018(2)

はじめに

この1ヶ月ほどの間、大阪北部地震、平成30年7月 豪雨と自然災害が立て続けに発生した。亡くなられた 方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災さ れ不自由な生活を余儀なくされている皆様に心よりお 見舞い申し上げます。

ローカル食堂

先回に引き続いて、清華大学で行われた CAADRIA 2018国際会議にまつわる話題を取り上げたい。今回は北京の様子を中心に。

ホテルから清華大学へは約2kmの道のりを歩いて学会へ通った。話題のコミュニティサイクルでの通勤・通学など朝の風景が色々と近づいてくる。ローカルな食堂は平日の朝飯時、地元の人々で溢れかえっており、店の中へはとても入れそうになかったが、気になっていた。学会最終日は土曜日にあり、店に朝早く行ってみると空いていた。英語もスマホも通じない中、玉子スープを注文すると「小籠包は要らないですか?」と尋ねられた(気がした)ので、「では1個!」と注文したら、積みあがった小籠包のひと皿を出してくれ、中には10個も入っていた。思わず「Too much!」と言ったら半分だけの器に変更してくれた。言葉が通じたのか、筆者の焦った空気が通じたのか…かなり美味しかったのは確かである(図1-3)。

スマホ決済

このローカル食堂は現金で問題なく支払うことができたが(RMB9 = JPY160)、中国は電子マネー化が爆発的に進んでいる。その主役は、支付宝(アリペイ)や微信支付(ウィーチャットペイ)であり、店が用意したQRコードにスマホをかざせば決済完了となる。但し、スマホ決済は、中国国内に銀行口座を開設していなければならないなど、外国人には敷居が高い(図4)。

よって訪問当時、筆者はこのスマホ決済サービスを 使うことができなかった。つまり、タクシーやコミュ ニティサイクルなどスマホ決済しかできないサービス はそもそも利用できない「支払い難民」状態になって しまう。ようやく最近は外国人でも利用可能になって きているようである。

胡同

北京の旧城内を中心に点在する細い路地のことを胡同という。胡同の両側には伝統的家屋建築である四合院が建ち並んでいるが、近年の急激な市街地開発と北京オリンピックの整備(図 5,6)でその多くが取り壊された。

紫禁城の西側辺りの胡同を歩いたのだが、四合院の 入口や壁の工事があちこちで行われていた。観光化に 向けた景観整備のように思われた。それでもこの辺り は古い雰囲気がまだ残されており、狭い路地を通り抜 けられるよう三輪車での配達や、住宅の入り口に置か れた牛乳の配達箱は懐かしい。夕方になると、井戸端 会議がどこともなくはじまった(図7,8)。

恭王府

中国における現存する王府の中では、最も無傷で保存されてきた清朝の王府。清朝の貴族(恭親王奕訢)が邸宅の最後の持ち主となり、「恭王府」と改められた。 屋敷と庭園からなる(図9,10)。

SOHO

建築家ザハ・ハディッド氏が北京市内に2つの SOHO ビル群を残している。

銀河 SOHO は、紫禁城の東2.5km、地下鉄・朝陽 門駅の傍にある。丸い団子のようなフォルムをした 4 つのビルが並び建つ。各ビルはブリッジで繋がっており、店舗やオフィスが入っている(図11)。

望京 SOHO は、北京市内の北東部、首都国際空港に向かう道中にある。有機的なフォルムをした3つのビルが独立して建ち並んでおり、ビルの高さは銀河 SOHO よりも高い(図12)。

また、北京南西部の麗澤という地に、麗澤 SOHO が新たに建設中である。

2 まちなみ 2018/8



福田 知弘(ふくだ ともひろ)

1971年兵庫県加古川市生まれ。環境設計情報学が専門。大阪大学大学院工学研究科環境工学専攻博士後期課程修了、 博士 (工学)。香港中文大学 修士論文指導教授、神戸市 都市景観審議会委員、吹田市 教育委員会委員、 CAADRIA (Computer Aided Architectural Design Research In Asia) 学会元会長ほか公職兼務。NPO 法 人もうひとつの旅クラブ理事。「光都・こうべ」照明デザイン設計競技最優秀賞受賞。主な著書に「はじめての環境 デザイン学」など。ふくだぶろーぐは、http://fukudablog.hatenablog.com/



北京 2018